

令和2年度 事業報告書（モデル的事业）

団体名：空町まちづくり協議会

1. モデル的事业名	まち協運営活性化事業		
2. 事業名	空町まち協運営活性化事業		
3. 事業期間	H30～R3（4年）	4. 事業進捗率	80%
4. 目的	<p>人口減少や高齢化によって町内会の維持や役員の選出が難しい中、まち協役員は1年交代のため、新役員は予備知識や情報がない状況で、新年度の事業計画等を立案しなければならない。そのため前年度事業を継続することが通例となり、新規事業の提案や既存事業の改善などを行うことは非常に困難な状況にある。</p> <p>本事業では、事務局内に「企画・支援チーム」を設置し、事業に対する様々な提案を行うことを基本に、今後の大きな課題となる人口減少、高齢化を考慮した町内会、まち協の在り方を探り、組織の見直しや改革などを提言することを目的とする。</p>		
5. 事業実績	<p>【1年目・平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企画・支援チーム」の人材を募集するにあたり、外から見た空町の問題点や今後の在り方に対する意見、考えを出してもらい、議論の活性化を促すため、地域外からも広く人材を募った。 ・地域外から2名、地域内から1名スタッフを選考し、事務局長を加えた計4名による「企画・支援チーム」を設置した。 <p>【2年目・平成31年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企画・支援チーム」にまち協会長も加え5名体制とし、より幅広い意見を集約するなど、体制の充実を図った。 ・「企画・支援チーム」による企画会議では活発な意見交換が行われ、様々な提案を行う基礎を作り上げた。 ・「企画・支援チーム」は委員会などの会議に参加し、判明した問題点に対して、取り組みやすいようテーマを3つに絞り、次年度の事業として提案した。 ①地域の人材を活かした事業、講座、サークル活動の活性化を目指し、新たな補助金制度の立ち上げ。 ②地域住民の交流の場となる「サロン」の開設に向け、空き家対策も考慮に入れた候補地の選定と今後の進め方について提案。 ③地域住民にもっと地元を知ってもらうため、地域内のお店や魅力的な場所、地元のお宝を紹介する「空町まち歩きマップ」製作の提言。 ・視察研修を実施し、先進的な街づくりの事例、進め方を学んだ。 <p>【3年目・令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企画・支援チーム」が、各事業及び各会議（常任委員会など）に出席し、引き続き、各委員会やまち協本部に対して、新規事業の提案、3大行事などの既存事業についての課題の提起や改革などの具体的な提言を行うこととしていたが、今年度は行事がほぼ中止となり、事業への参加や 		

	<p>提言ができなかったため、来年度に再度行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度提起した3つのテーマに対して、確実に事業が進捗するよう助言を行った。 ①地域事業の支援事業を開始、コロナ禍のなかで、新しく1つのサークルへの支援を追加した。 ②サロンの開設は計画が具体化し、令和4年度の開設を予定。 ③「空町まち歩きマップ」を制作し、地域内の全家庭、旅館やお店、市内の観光施設などに配布した。来年度も改訂版の発行を予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・役員、組織のスリム化、役員の専従化などの組織改革について協議した。年度末までに役員の削減と2年任期を柱とする第1次案をまとめ、役員会に報告した。今後すべての委員会や町内会の意見を踏まえ、令和5年度から施行できるように理解と検討を加える。 <p>《本来ならば令和4年度の施行を目指したが、コロナの影響で各町内会の総会などの決定機関を開催できないことによる（町内会会則の変更が必要なため）》</p>
6. 事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革について、すでに今までには見られないほどの様々な意見が出て、議論が活発化し、組織改革案を提示することができた。 ・平成31年度の提言（地域団体の支援事業など）を具体化することができた。 ・行事がほぼ中止となり、事業への参加や提言はできなかったが、アンケートの内容や結果について協議し、今後の事業の在り方を考えることができた。
7. 今後の見通し・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・組織改革について、今後、様々な意見を集約し、令和5年度から施行できるように進める。これからの時代に即した組織を作り上げることにより、あまり無理をしなくても済む体制を確立してゆきたい。 ・サロンの開設は、地域の交流の場としての活用が基本であるが、空町地域にとって様々な可能性を秘めた事業であり、まち協へのかかわり方や関心が高まることが期待されるため、引き続き助言を求める。 ・3大行事や、各委員会事業の在り方について協議し、改革に向けた提言を行う。

事業実施内容

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
6月22日	会議	第1回企画会議 ・昨年度事業の進捗状況、空町マップの制作について	全員参加 (6名)
7月29日	会議	第2回企画会議 ・住民アンケート、小中学生アンケートの実施に向けて、組織改革タイムスケジュールの確定	全員参加 (6名)
9月9日	会議	第3回企画会議 ・住民アンケート内容確認、サロン候補地下見報告	全員参加 (6名)
9月30日	オンライン会議	高山市下二之町・村半にて ・オンライン会議体験と今後の活用に向けた協議	全員参加 (6名)
10月27日	会議	第4回企画会議 ・組織改革の基本構想、サロン開設をモデル事業として申請することに関して協議	全員参加 (6名)
12月3日	会議	第5回企画会議 ・住民アンケート集計報告、問題点確認 ・組織改革：役員削減案の検討	全員参加 (6名)
1月21日	オンライン会議	第6回企画会議 ・組織改革：第1次案の検討	全員参加 (6名)
2月16日	会議	第7回企画会議 ・組織改革：第2次案の検討、来年度活動予定	全員参加 (6名)
3月23日	会議	第8回企画会議 ・組織改革：第3次案の検討、町内会への提示・説明について ・令和3年度活動計画	全員参加 (6名)

令和2年度 空町まちづくり協議会 収支決算書（モデル的事業）
空町まち協運営活性化事業

【収 入】

単位：円

区 分	当初予算額	補正額	変更後予算額	決算額	差引額	内 訳
市補助金	400,000	△250,000	150,000	150,000	0	協働のまちづくり支援金（モデル的事業）
自主財源	0	4,500	4,500	4,500	0	
合 計	400,000	△245,500	154,500	154,500	0	

【支 出】

単位：円

事業・科目	当 初		補正額		変更後		決算額		差引額	
	予算額	支援金充当額		支援金充当額	予算額	支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額
事業費										
人件費	180,000	180,000	△45,000	△45,000	135,000	135,000	135,000	135,000	0	0
旅費	200,000	200,000	△200,000	△200,000	0	0	0	0	0	0
需用費	20,000	20,000	△6,800	△11,300	13,200	8,700	13,200	8,700	0	0
使用料及び賃借料	0	0	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	0	0
合 計	400,000	400,000	△245,500	△250,000	154,500	150,000	154,500	150,000	0	0

令和2年度 空町まちづくり協議会 支出内訳書（モデル的事業）

単位：円

事業・科目	決算額		内 訳
		支援金充当額	
事業費			
人件費	135,000	135,000	
委員報酬	135,000	135,000	出役1回あたり5,000円（「企画・支援チーム」スタッフ3人×9回）
需用費	13,200	8,700	
消耗品費	13,200	8,700	TV会議用ヘッドセット
使用料及び賃借料	6,300	6,300	
使用料	6,300	6,300	会議出席時駐車料金
合 計	154,500	150,000	